

資料2

和光市国民健康保険
医療費計画
(素案)

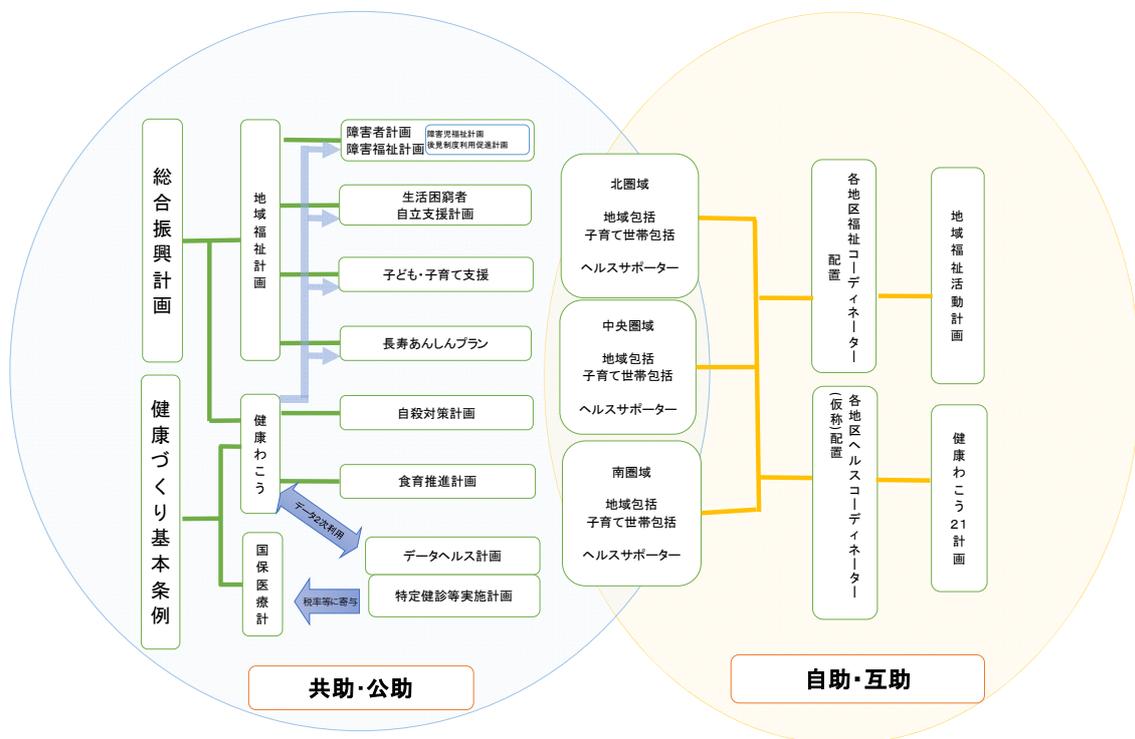
第1章から第5章

第1章 計画策定にあたって

第1節 計画策定の目的及び背景

平成30年度からの国保制度改正、県が進める地域医療構想の推進など大きな環境の変化に際し、市・保険者として、地域医療や医療費適正化への施策を積極的に展開していくため、今後の国保運営のあり方等を示した国保医療費計画を策定する。

第2節 計画の位置づけ及び他計画との関係



第3節 計画の期間

平成30年度から平成32年度の3カ年とする。

第2章 計画の理念・目標・方針

第1節 基本理念・目標

地域包括ケアシステムの推進を踏まえた保健事業の実施による被保険者のQOLの向上及び医療費適正化を中心とした被保険者負担の軽減

第2節 基本方針

- ① 医療費の要因分析による課題の明確化
- ② 医療費の適正化に効果のある保健事業の推進
- ③ 保険者努力支援制度を積極的に活用するとともに、保険者として適切な運営の実施
- ④ 被保険者の本来負担すべき税額等を明らかにするとともに、被保険者の負担軽減を考慮した運営及び保険税の設定

第3章 現状と課題

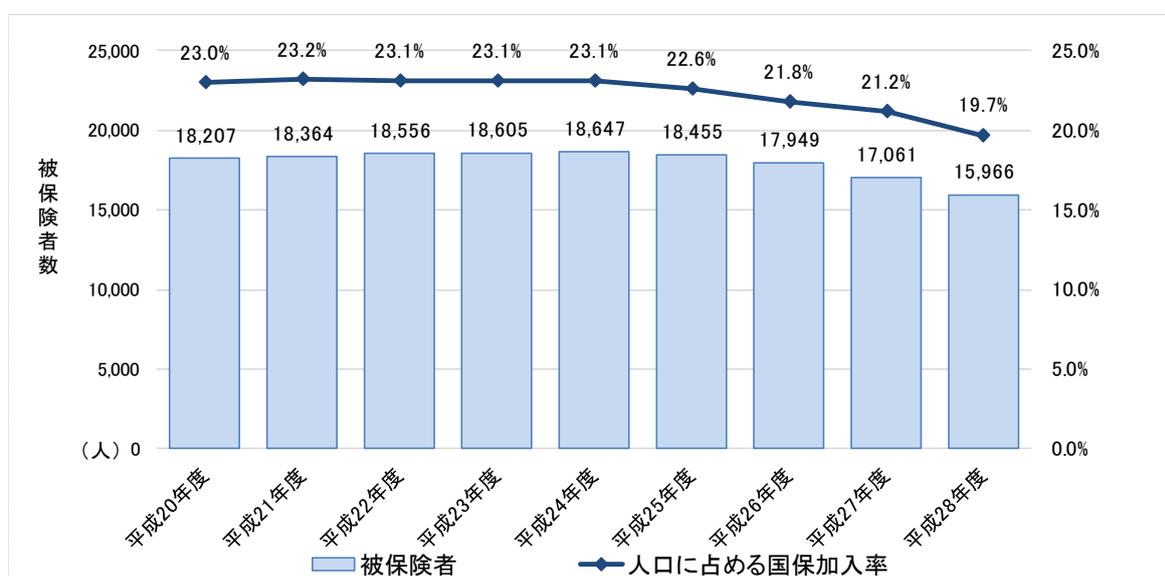
第1節 被保険者・医療費の現況

1 国民健康保険被保険者の状況

(1) 被保険者数の推移

- 国保被保険者数及び加入率は平成24年度をピークに減少傾向にある。
- 人口に占める国保加入者の割合は、近年減少してきており、平成28年度には2割程度となっている。

図1 国保被保険者数及び国保加入率の推移（各年度末）



出典：国民健康保険事業年報

(2) 年齢階層別被保険者数

- 前期高齢者の被保険者が多くなっている。
- 前期高齢者人口の約7割は国保被保険者となっている。

図 2 性・年齢階層別国保被保険者数及び加入率（平成 28 年度末）

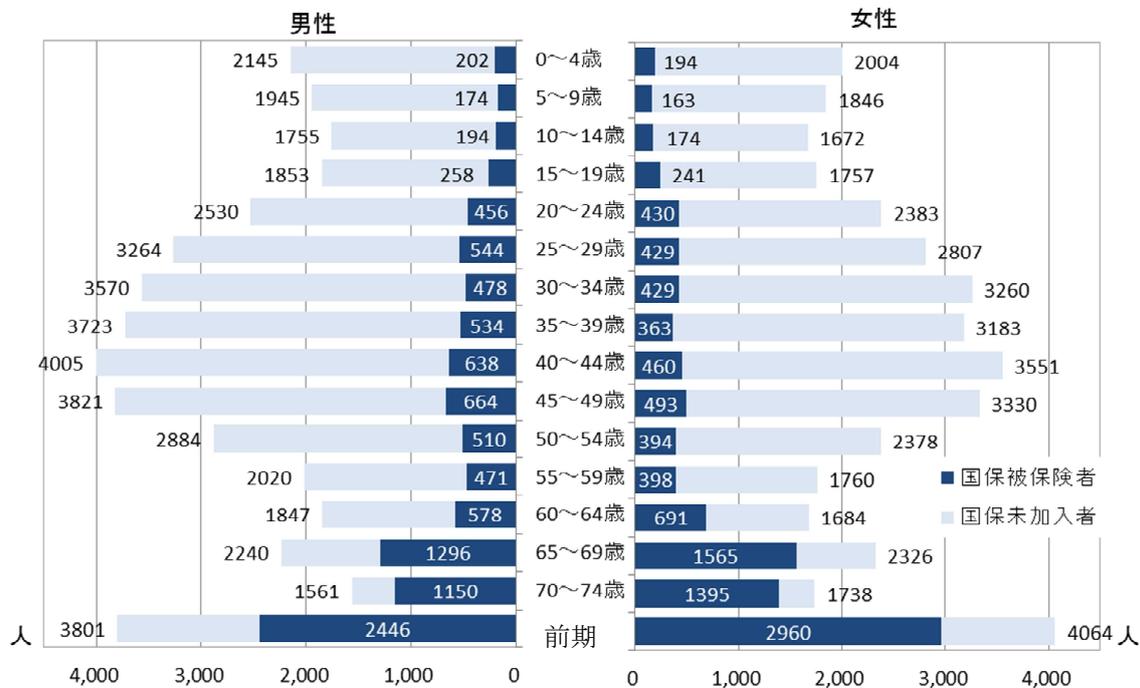


表 1 性・年齢階層別国保被保険者数及び加入率（平成 28 年度末）

(人)	男性			女性			合計		
	人口	国保加入者	加入率	人口	国保加入者	加入率	人口	国保加入者	加入率
0～4歳	2,145	202	9.4%	2,004	194	9.7%	4,149	396	9.5%
5～9歳	1,945	174	8.9%	1,846	163	8.8%	3,791	337	8.9%
10～14歳	1,755	194	11.1%	1,672	174	10.4%	3,427	368	10.7%
15～19歳	1,853	258	13.9%	1,757	241	13.7%	3,610	499	13.8%
20～24歳	2,530	456	18.0%	2,383	430	18.0%	4,913	886	18.0%
25～29歳	3,264	544	16.7%	2,807	429	15.3%	6,071	973	16.0%
30～34歳	3,570	478	13.4%	3,260	429	13.2%	6,830	907	13.3%
35～39歳	3,723	534	14.3%	3,183	363	11.4%	6,906	897	13.0%
40～44歳	4,005	638	15.9%	3,551	460	13.0%	7,556	1,098	14.5%
45～49歳	3,821	664	17.4%	3,330	493	14.8%	7,151	1,157	16.2%
50～54歳	2,884	510	17.7%	2,378	394	16.6%	5,262	904	17.2%
55～59歳	2,020	471	23.3%	1,760	398	22.6%	3,780	869	23.0%
60～64歳	1,847	578	31.3%	1,684	691	41.0%	3,531	1,269	35.9%
65～69歳	2,240	1,296	57.9%	2,326	1,565	67.3%	4,566	2,861	62.7%
70～74歳	1,561	1,150	73.7%	1,738	1,395	80.3%	3,299	2,545	77.1%
前期高齢者(再掲)	3,801	2,446	64.4%	4,064	2,960	72.8%	7,865	5,406	68.7%

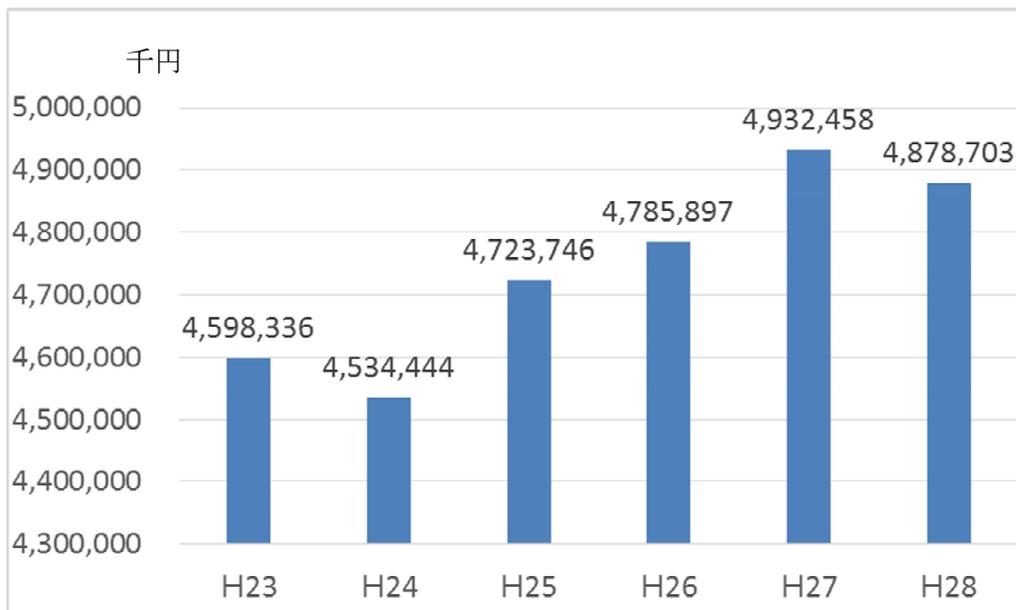
2 医療費の動向

(1) 医療費の推移

① 総医療費の推移

- 被保険者数の減少により、平成28年度は、医療費総額は減少している。

図 3 総医療費の推移



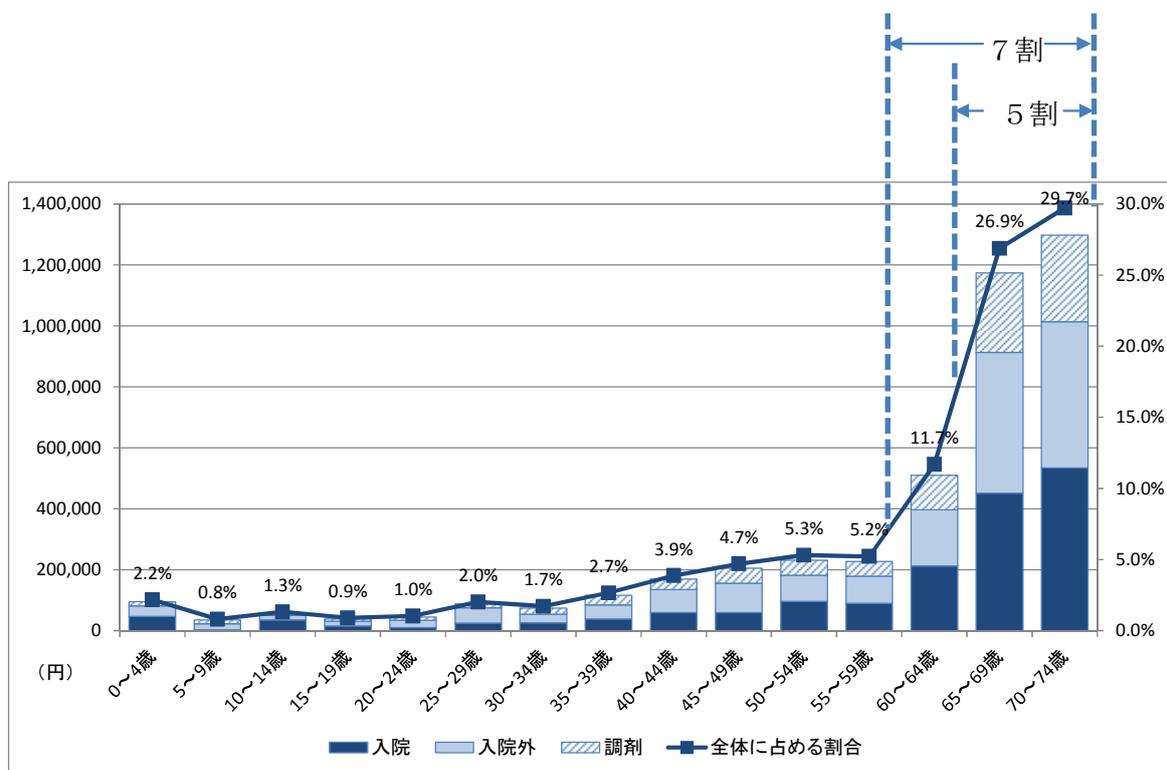
② 年齢階層別医療費

●入院・入院外・調剤いずれも、60歳以上で約7割を占めており、65歳以上では5割を占めている。

表 2 年齢階層別・診療種別医療費と総医療費に占める割合（平成 28 年度）

年齢	診療種別医療費(千円)			総医療費に占める割合(%)		
	入院	入院外	調剤	入院	入院外	調剤
0～4歳	47,042	34,580	13,565	2.8	2.0	1.4
5～9歳	3,872	19,422	11,830	0.2	1.1	1.2
10～14歳	35,515	14,918	7,399	2.1	0.9	0.8
15～19歳	16,034	15,524	7,796	0.9	0.9	0.8
20～24歳	10,324	24,177	11,019	0.6	1.4	1.2
25～29歳	24,975	50,056	12,888	1.5	2.9	1.4
30～34歳	25,743	29,046	20,084	1.5	1.7	2.1
35～39歳	39,224	45,487	31,403	2.3	2.7	3.3
40～44歳	60,215	75,615	33,366	3.5	4.4	3.5
45～49歳	59,994	96,598	48,836	3.5	5.7	5.1
50～54歳	96,645	85,780	49,290	5.7	5.0	5.2
55～59歳	90,337	89,017	48,380	5.3	5.2	5.1
60～64歳	212,548	184,681	112,967	12.4	10.8	11.8
65～69歳	451,237	461,539	260,965	26.4	27.0	27.4
70～74歳	533,810	480,246	283,630	31.3	28.1	29.7
総計	1,707,516	1,706,686	953,421	100.0	100.0	100.0

図 4 年齢階層別・診療種別医療費と総医療費に占める割合（平成 28 年度）



(2) 年齢階層別レセプト発生件数

- 入院・入院外ともに65歳以上のレセプトが全体の半数以上を占めている。

表 3 診療種別・年齢階層別レセプト発生件数（平成28年度）

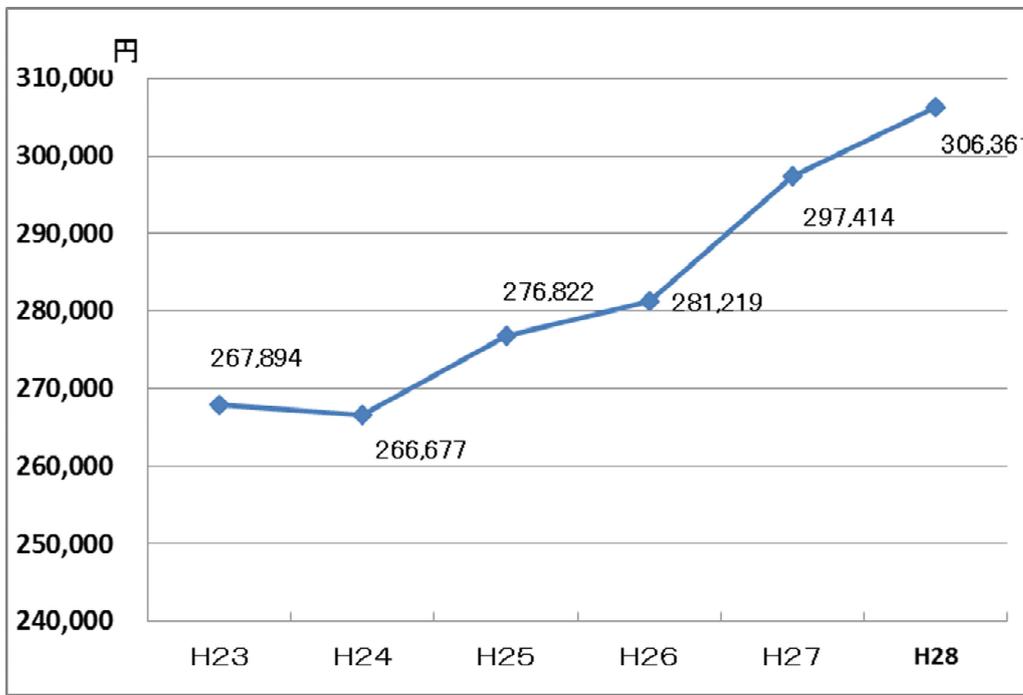
	入院		入院外	
	件数	割合	件数	割合
0～4歳	85	2.8%	4,293	3.5%
5～9歳	9	0.3%	2,662	2.2%
10～14歳	31	1.0%	1,981	1.6%
15～19歳	26	0.8%	1,860	1.5%
20～24歳	43	1.4%	2,496	2.0%
25～29歳	85	2.8%	3,279	2.7%
30～34歳	85	2.8%	3,685	3.0%
35～39歳	99	3.2%	4,163	3.4%
40～44歳	107	3.5%	5,434	4.5%
45～49歳	123	4.0%	5,857	4.8%
50～54歳	167	5.4%	5,157	4.2%
55～59歳	190	6.2%	6,113	5.0%
60～64歳	458	14.9%	13,980	11.5%
65～69歳	766	25.0%	31,857	26.1%
70～74歳	791	25.8%	29,110	23.9%
計	3,065	100.0%	121,927	100.0%

出典：レセプトデータ

(3) 一人当たり医療費

- 一人当たり医療費は、増加している。

図 5 一人当たり医療費



(4) 県内・外医療機関の受診動向

- 県内（市内）の受診が多いが、入院では4割以上が県外（東京）の医療機関を受診している。

表 4 診療種別県内外医療機関受診割合（平成 28 年度）

	県内割合	【再掲】市内割合	県外割合	【再掲】都内割合
医科入院	55.35%	37.55%	44.65%	41.67%
医科入院外	60.28%	50.99%	39.72%	38.56%
調剤	65.90%	58.28%	34.10%	33.17%
歯科	65.18%	57.36%	34.82%	33.81%

第2節 医療費の要因分析

1 疾病の分類別状況

(1) 一人当たり医療費の内訳の推移

- 入院は、横ばいから増加傾向にある。
- 入院外、調剤は、増加傾向にある。

図6 一人当たり・診療種別医療費の推移

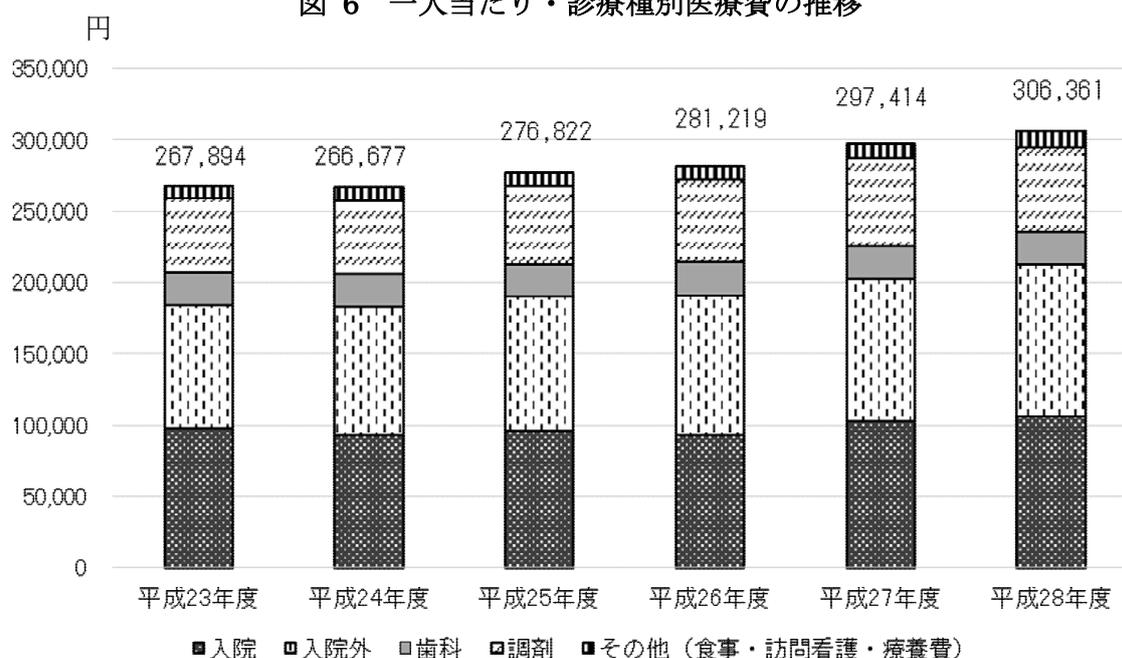


表5 一人当たり・診療種別医療費の推移

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入院 (円)	97,634	93,380	95,518	93,254	102,440	106,099
入院外 (円)	86,584	89,483	94,068	97,246	99,415	106,168
歯科 (円)	22,332	22,629	23,044	23,715	24,026	23,014
調剤 (円)	52,126	51,802	54,689	57,409	60,886	59,471
その他 (食事・訪問看護・療養費) (円)	9,218	9,383	9,503	9,595	10,647	11,610
合計 (円)	267,894	266,677	276,822	281,219	297,414	306,361
前年度比増減率	-	-0.45%	3.80%	1.59%	5.76%	3.01%

(2) 年齢階層別一人当たり医療費

- 60歳以上の一人当たり医療費は、入院、入院外、調剤ともに高い。

表6 診療種別・年齢階層別一人当たり医療費（平成28年度）

単位：円

	入院	入院外	調剤
計	106,099	106,168	59,471
0～4歳	125,688	102,462	42,992
5～9歳	9,994	44,680	26,567
10～14歳	98,489	40,598	21,444
15～19歳	28,585	26,409	11,808
20～24歳	12,005	30,856	13,259
25～29歳	30,423	50,004	15,326
30～34歳	25,386	33,003	22,015
35～39歳	49,139	46,379	33,877
40～44歳	51,582	71,556	31,402
45～49歳	58,759	83,896	43,095
50～54歳	112,205	80,144	47,115
55～59歳	108,299	116,023	62,440
60～64歳	189,877	160,998	93,184
65～69歳	157,300	156,658	91,634
70～74歳	211,700	182,372	106,660

(3) 疾病分類別医療費

●大分類別では、循環器系疾患が最も多く全体の約2割、次いで新生物、精神及び行動の障害の順となっている。

●疾病別医療費の推移を見ると、高血圧性疾患等の医療費が減少している一方、腎不全や脳梗塞の医療費が増加している。

図7 疾病分類(大)別医療費の総医療費に占める割合(平成28年度)

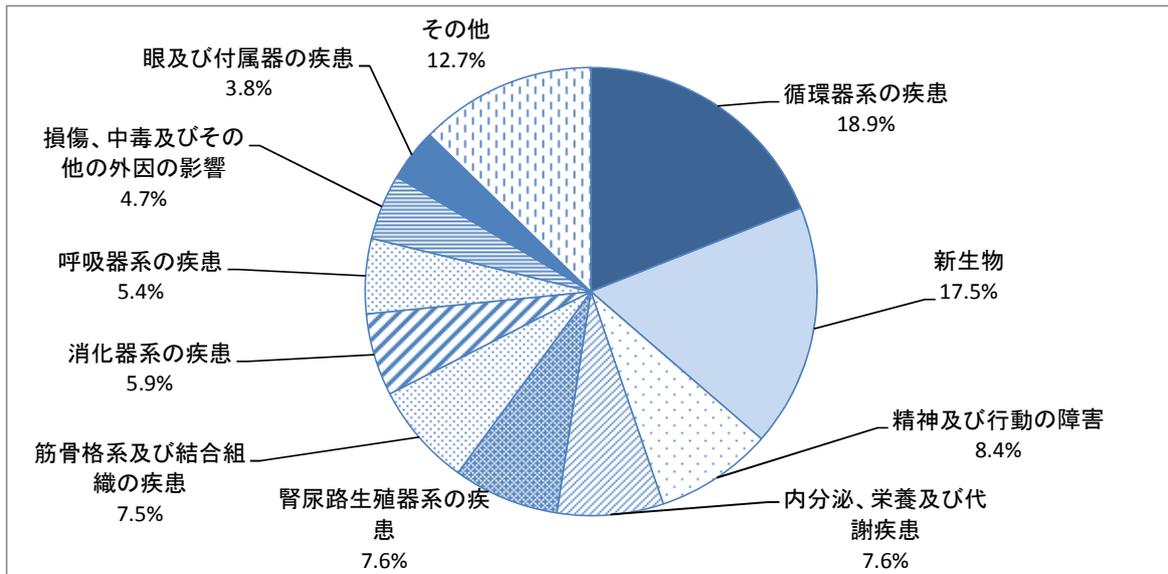


表7 疾病分類別医療費の割合(平成28年度)

医科(入院)								
順位	大分類別疾患		中分類別疾患			細小分類別疾患		
	疾病名	入院医療費に占める割合	中分類の中での順位	疾病名	大分類に占める比率	細小分類の中での順位	疾病名	中分類に占める比率
1	循環器系の疾患	22.6%	2	その他の心疾患	6.6%	11	不整脈	2.2%
			34	心臓弁膜症	0.4%			
			9	狭心症	2.8%			
			27	心筋梗塞	0.5%			
			3	脳梗塞	4.0%			
9	脳内出血	3.0%	5	脳出血	3.0%			
14	その他の循環器系の疾患	2.3%	12	大動脈瘤	2.0%			
59	食道静脈瘤	0.1%	19	前立腺がん	0.9%			
2	新生物	20.7%	1	その他の悪性新生物	7.0%	22	膀胱がん	0.7%
			25	食道がん	0.5%			
			4	肺がん	3.1%			
8	気管、気管支及び肺の悪性新生物	3.1%	32	子宮筋腫	0.4%			
15	良性新生物及びその他の新生物	2.2%	46	卵巣腫瘍(良性)	0.2%			
3	精神及び行動の障害	12.4%	3	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6.4%	1	統合失調症	6.4%
			12	その他の精神及び行動の障害	2.5%	16	認知症	1.0%
			18	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	1.8%	13	うつ病	1.7%
4	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.7%	13	脊椎障害(脊椎症を含む)	2.3%			
			19	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1.7%			
			22	関節症	1.5%			

医科(入院外) + 調剤

順位	大分類別疾患		中分類別疾患			細小分類別疾患		
	疾病名	入院外・調剤医療費に占める割合	中分類の中での順位	疾病名	大分類に占める比率	細小分類の中での順位	疾病名	中分類に占める比率
1	内分泌、栄養及び代謝疾患	15.3%	1	糖尿病	8.6%	1	糖尿病	8.6%
			4	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	6.0%	4	脂質異常症	4.6%
			40	甲状腺障害	0.6%	43	痛風・高尿酸血症	0.2%
						41	甲状腺機能亢進症	0.2%
2	循環器系の疾患	14.3%	3	高血圧性疾患	7.8%	2	高血圧症	7.8%
			5	その他の心疾患	4.2%	10	不整脈	1.7%
			26	虚血性心疾患	1.1%	60	心臓弁膜症	0.1%
						21	狭心症	0.8%
			45	脳梗塞	0.5%	56	心筋梗塞	0.1%
			66	その他の循環器系の疾患	0.2%	28	脳梗塞	0.5%
						70	大動脈瘤	0.0%
			80	食道静脈瘤	0.0%	17	前立腺がん	0.9%
3	新生物	10.7%	8	その他の悪性新生物	2.7%	35	卵巣腫瘍(悪性)	0.3%
			12	気管、気管支及び肺の悪性新生物	2.1%	38	腎臓がん	0.2%
						8	肺がん	2.1%
			21	乳房の悪性新生物	1.5%	13	乳がん	1.5%
4	尿路器系の疾患	10.3%	2	腎不全	8.0%	3	慢性腎不全(透析あり)	7.3%
			35	その他の腎尿路系の疾患	0.7%	27	慢性腎不全(透析なし)	0.5%
			42	前立腺肥大(症)	0.6%	25	前立腺肥大	0.6%

表 8 上位 30 位の疾病分類(中)別医療費の推移

傷病分類(中)別医療費(千円)	5年平均	割合(%)	年度別費用の推移				
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1 高血圧性疾患	198,536	5.9	195,157	208,887	209,408	204,620	174,607
2 その他の悪性新生物	197,498	5.8	202,297	221,349	200,911	187,374	175,559
3 腎不全	186,492	5.5	158,892	171,345	189,781	196,033	216,409
4 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	159,610	4.7	171,848	151,729	153,466	172,593	148,412
5 糖尿病	144,900	4.3	140,006	147,709	161,315	146,230	129,240
6 その他の心疾患	117,593	3.5	115,839	142,402	89,205	122,084	118,434
7 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	97,261	2.9	74,963	99,707	113,267	104,767	93,601
8 虚血性心疾患	91,344	2.7	106,986	88,416	75,734	90,266	95,320
9 その他の消化器系の疾患	90,659	2.7	81,658	82,397	96,418	106,872	85,949
10 脳梗塞	84,401	2.5	72,256	90,306	78,021	69,469	111,951
11 骨折	82,598	2.4	80,169	90,269	79,905	83,763	78,883
12 症状、徴候及び異常臨床所見・ほか	75,558	2.2	52,079	55,095	76,369	92,138	102,108
13 良性新生物及びその他の新生物	75,176	2.2	73,672	81,226	80,981	72,735	67,264
14 気管、気管支及び肺の悪性新生物	72,474	2.1	69,061	62,718	58,026	74,260	98,307
15 その他の神経系の疾患	63,530	1.9	45,903	63,905	73,106	63,574	71,164
16 関節症	62,886	1.9	48,217	56,998	76,443	78,466	54,304
17 その他の損傷及びその他の外因の影響	61,256	1.8	49,069	49,494	76,524	72,318	58,876
18 脊椎障害(脊椎症を含む)	58,600	1.7	67,651	60,207	53,117	50,868	61,159
19 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	55,456	1.6	47,723	45,015	67,421	63,073	54,046
20 その他の呼吸器系の疾患	50,380	1.5	45,842	40,196	54,436	59,026	52,400
21 その他の眼及び付属器の疾患	49,214	1.5	40,841	46,507	55,344	50,953	52,425
22 脳内出血	48,713	1.4	57,554	31,089	36,803	47,220	70,899
23 胃の悪性新生物	46,422	1.4	53,515	51,273	35,111	40,695	51,516
24 その他の循環器系の疾患	46,075	1.4	44,045	38,202	42,327	50,162	55,640
25 結腸の悪性新生物	43,803	1.3	45,162	36,718	44,255	41,174	51,707
26 屈折及び調節の障害	42,826	1.3	45,033	47,036	44,625	37,755	39,680
27 炎症性多発性関節障害	41,604	1.2	38,228	45,251	44,860	41,679	38,003
28 乳房の悪性新生物	39,057	1.2	27,312	22,856	42,936	58,213	43,968
29 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	32,484	1.0	20,721	30,545	29,125	42,164	39,864
30 胃炎及び十二指腸炎	31,480	0.9	33,244	29,523	30,885	33,719	30,027

(4) 入院、入院外における疾病分類

●疾病別のレセプト発生件数は、入院では「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」、「その他の悪性新生物」、「その他の消化器系の疾患」の順、入院外では「高血圧性疾患」、「糖尿病」、「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」の順

表 9 主な疾病別レセプト発生件数（平成 28 年度）

入院（単位：件）	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平均
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	386	324	330	371	316	345
その他の悪性新生物	229	259	235	208	163	219
その他の消化器系の疾患	159	148	153	154	128	148
骨折	129	139	129	123	105	125
脳梗塞	83	105	102	96	151	107
虚血性心疾患	87	76	68	84	92	81
良性新生物及びその他の新生物	75	97	92	78	58	80
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	56	75	90	79	81	76
その他の心疾患	77	78	70	81	67	75
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	46	46	86	93	100	74
気管、気管支及び肺の悪性新生物	75	70	71	78	73	73
その他の神経系の疾患	43	71	88	71	72	69
その他の損傷及びその他の外因の影響	45	58	91	68	64	65
その他の呼吸器系の疾患	55	66	60	73	59	63
その他の妊娠、分娩及び産じょく	48	64	63	59	75	62
腎不全	66	48	40	65	65	57
糖尿病	54	61	64	57	46	56
脳内出血	66	34	45	49	82	55
その他の精神及び行動の障害	50	62	60	50	44	53
白内障	82	83	37	28	32	52
合計(上記疾病以外も含む)	3,105	3,257	3,192	3,205	3,065	3,165
入院外（単位：件）	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平均
高血圧性疾患	18,268	18,268	19,373	18,816	17,781	18,501
糖尿病	6,832	6,832	7,261	7,264	6,781	6,994
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	6,148	6,148	6,299	6,487	6,470	6,310
屈折及び調節の障害	5,600	5,600	5,509	4,902	4,700	5,262
皮膚炎及び湿疹	4,489	4,489	4,321	4,337	4,072	4,342
その他の急性上気道感染症	3,269	3,269	3,754	4,067	3,850	3,642
アレルギー性鼻炎	3,588	3,588	3,221	2,932	2,781	3,222
その他の眼及び付属器の疾患	3,175	3,175	3,369	3,226	3,024	3,194
その他の皮膚及び皮下組織の疾患	3,010	3,010	3,110	3,348	3,262	3,148
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,602	2,602	2,678	2,924	2,949	2,751
その他の神経系の疾患	2,469	2,469	2,633	2,920	2,790	2,656
胃炎及び十二指腸炎	2,485	2,485	2,549	2,789	2,595	2,581
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2,537	2,537	2,413	2,566	2,380	2,487
喘息	2,388	2,388	2,345	2,398	2,392	2,382
その他の消化器系の疾患	2,146	2,146	2,258	2,505	2,350	2,281
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2,172	2,172	2,198	2,120	2,202	2,173
その他の損傷及びその他の外因の影響	2,211	2,211	2,037	2,216	2,051	2,145
関節症	1,807	1,807	1,915	2,083	1,934	1,909
脊椎障害(脊椎症を含む)	1,834	1,834	1,775	1,859	1,893	1,839
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1,952	1,952	1,952	1,763	1,460	1,816
合計(上記疾病以外も含む)	129,397	129,397	130,124	127,180	121,927	127,605

出典：レセプトデータ

(5) 年齢階層別疾病小分類 (入院、入院外+調剤区分)

- 年齢が上がるほど、生活習慣病が増える。

表 10 年齢階層別疾病小分類 (生活習慣病、統合失調症抜粋) (平成 28 年度)

医科(入院) 単位: 点

	高血圧症	狭心症	心筋梗塞	脳梗塞	脳出血	クモ膜下出血	糖尿病	慢性腎不全(透析あり)	慢性腎不全(透析なし)	脂質異常症	脂肪肝	統合失調症
計	842,271	4,883,815	911,894	6,985,630	5,228,194	1,511,432	1,285,577	4,981,390	978,700	75,062	112,244	11,101,165
0~4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19歳	0	0	0	0	330,754	158,499	0	0	0	0	0	0
20~24歳	0	0	0	0	0	0	0	16,664	0	0	0	49,491
25~29歳	0	0	0	0	0	0	101,239	0	0	6,396	0	802,680
30~34歳	29,229	0	0	0	318,354	0	49	0	0	0	0	524,867
35~39歳	0	0	0	47,185	777,578	0	30,957	0	0	0	0	1,122,816
40~44歳	15,721	142,480	0	52,022	810,978	234,434	44,058	0	29,161	0	0	569,745
45~49歳	308	183,356	0	11,562	751,356	0	70,537	709,695	0	0	0	856,054
50~54歳	3,459	1,050,243	0	321,944	0	0	0	886,893	235,127	0	0	1,498,308
55~59歳	32,358	8,892	186,298	492,254	494,678	249,913	101,279	76,510	0	0	0	664,701
60~64歳	33,576	632,011	405,875	728,890	388,294	102,184	186,570	605,354	103,414	0	106,245	3,513,567
65~69歳	246,557	1,365,675	0	2,589,875	1,245,355	766,402	485,835	1,536,351	582,372	19,688	0	1,284,865
70~74歳	481,063	1,501,158	319,721	2,741,898	1,10,847	0	265,053	1,149,923	28,626	48,978	5,999	214,071

医科(入院外)+調剤 単位: 点

	高血圧症	狭心症	心筋梗塞	脳梗塞	脳出血	クモ膜下出血	糖尿病	慢性腎不全(透析あり)	慢性腎不全(透析なし)	脂質異常症	脂肪肝	統合失調症
計	20,991,552	2,017,252	232,545	1,365,400	100,616	18,637	22,953,269	19,614,455	1,367,763	12,422,087	451,777	5,155,695
0~4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19歳	0	0	0	0	0	0	8,517	0	0	0	0	25,108
20~24歳	1,205	0	0	0	0	0	23,930	469,086	0	8,352	0	148,466
25~29歳	8,082	4,825	0	0	0	0	42,877	0	19,812	40,560	0	152,381
30~34歳	47,365	2,524	0	0	32,260	0	59,313	0	0	27,958	8,878	398,802
35~39歳	115,404	5,178	0	100	0	532	332,866	0	28,335	44,200	26,300	635,958
40~44歳	344,386	39,082	9,265	2,043	9,752	0	477,565	1,037,601	18,829	124,153	24,712	689,599
45~49歳	630,541	98,119	0	15,903	582	2,226	890,376	788,410	22,307	397,524	34,295	898,656
50~54歳	702,350	40,574	4,559	13,597	0	0	876,013	2,461,356	32,306	325,369	24,121	800,432
55~59歳	845,491	138,888	2,209	78,730	0	0	1,626,929	2,590,906	84,570	836,899	45,386	450,239
60~64歳	2,350,423	202,571	3,118	132,383	6,933	6,461	3,368,629	1,454,703	278,554	1,613,371	61,754	585,454
65~69歳	7,528,418	774,315	21,890	491,262	51,089	9,418	8,044,192	3,891,008	637,411	4,515,970	131,934	228,791
70~74歳	8,417,887	711,176	191,504	631,382	0	0	7,202,062	6,921,385	245,639	4,487,731	94,397	141,809

2 入院における疾病分析

(1) 高額費用上位5疾病及び高額費用入院件数

- 高額な入院件数は、平成27年度と平成28年度を比較すると増えており、一人当たり医療費を押し上げている。

表 11 高額な疾病の推移（上位5位）

	H27		H28	
	疾病名	費用額(円)	疾病名	費用額(円)
1	解離性大動脈瘤	12,186,930	心室頻拍	8,878,580
2	心不全	9,601,640	感染性心内膜炎	8,772,350
3	弁膜症・狭心症	8,441,040	弁膜症	7,236,730
4	急性心筋梗塞	5,632,400	胸部大動脈瘤	7,099,690
5	急性呼吸窮迫症候群	5,336,290	不安定狭心症	7,032,470

※レセプト1件当たり費用額

表 12 高額な入院件数の推移

	費用額	H27(件)	H28(件)
1	5,000,000円以上	6	12
2	4,000,000円以上	10	19
3	3,000,000円以上	30	47
4	2,000,000円以上	98	128
5	1,000,000円以上	490	500

(2) 入院総費用上位5疾病

- 平成28年度は、平成27年度と比較すると脳梗塞、肺がん、脳出血の医療費が急増している。
- 最も費用額が多い統合失調症は、件数が他疾病に比べ多くなっており、総費用額が多くなっている。また、件数の推移は、減少傾向である。

表13 疾病別高額医療費（入院）の推移（上位5位）

	H27			H28			
	疾病名	総費用額(円)	割合	疾病名	総費用額(円)	割合	対前年増減率
1	統合失調症	124,377,640	7.29%	統合失調症	111,011,650	6.39%	-10.75%
2	腎不全/透析	54,072,420	3.17%	脳梗塞	69,856,300	4.02%	56.77%
3	骨折	53,684,450	3.15%	肺がん	53,989,530	3.11%	26.77%
4	関節疾患	52,467,760	3.08%	脳出血	52,281,940	3.01%	87.38%
5	大腸がん	47,041,800	2.76%	腎不全/透析	49,813,900	2.87%	-7.88%

(3) 脳梗塞の状況

① 患者数の推移

- 脳梗塞の患者数は、年々増加傾向にある。
- 患者の2割以上は5年以内に再発し、約5割は再発している。
- 脳梗塞の再発は、疾病の重症化、他疾病との複合により、初回の2倍、初回（軽度）の8倍の入院費用額がかかる。
- 脳梗塞患者は、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの疾病も有している。

表14 脳梗塞の患者数の推移

	H24	H25	H26	H27	H28
患者数（人）	25	27	30	31	37

※脳梗塞が主病名であり、入院のきっかけと考えられる患者数を計上した。

表 15 H 2 8 年度の発生状況

	人数 (人)	割合
初回	17	45.9%
5年以内の再発	8	21.6%
5年以上の再発	9	24.3%
1年以上長期入院	3	8.1%
合計	37	100.0%

※レセプト発生状況などから計上した。

表 16 脳梗塞の平均費用額 (平成 2 8 年度)

	平均費用額 (円)
初回	1,341,523
初回 (軽度)	332,120
再発	2,785,236

※他疾病も含めた費用額

表 17 H 2 8 年度脳梗塞患者の他疾病の状況

	高血圧	糖尿病	脂質異常
H28対象者 (37人) (人)	29	15	19



脳梗塞の再発を防止する取組が必要である。

(4) 肺がんの人数推移

- 肺がんの患者数は横ばいだが、高額新薬の使用者が増え、医療費を押し上げている。

表 18 肺がん患者の推移

	H24	H25	H26	H27	H28
人数 (人)	35	51	50	33	35
高額新薬使用者 (人)	-	-	-	0	4
1レセ最高額 (円)	1,303,070	1,628,460	1,925,550	1,593,760	3,096,330



肺がんの早期発見、早期治療のため、がん検診受診率の向上が必要である。

3 入院外における疾病分析

(1) 入院外総費用上位5疾病

- 平成27年度及び平成28年度ともに生活習慣病による医療費が多くかかっている。

表 19 疾病別高額医療費 (入院外) の推移 (上位5位)

	H27			H28		
	疾病名	総費用額(円)	割合	疾病名	総費用額(円)	割合
1	高血圧症	240,413,400	8.57%	糖尿病	229,532,690	8.56%
2	糖尿病	237,797,420	8.48%	高血圧症	209,915,520	7.83%
3	腎不全/透析	194,485,170	6.93%	腎不全/透析	196,144,550	7.32%
4	脂質異常症	132,293,160	4.72%	脂質異常症	124,220,870	4.63%
5	関節疾患	100,866,610	3.60%	関節疾患	88,804,260	3.31%



生活習慣病の対象者へのアプローチが必要である。

(2) 特定健診におけるメタボ該当者の状況

- 特定健診の受診率は、42.4%となっている。
- 服薬していてもメタボに該当する者が多い。
- メタボには該当しないが服薬中の者も多い。
- 半数以上が特定健診未受診者である。

表 20 特定健診の状況 (平成 28 年度)

特定健診対象者数(人)		9,788	100.0%
特定健診受診者数(人)		4,150	42.4%
うちメタボ該当者数 (1,516人)	特定保健指導該当者(人)	681	7.0%
	特定保健指導非該当者 (既に服薬している者) (人)	835	8.5%
うちメタボ非該当者数 (2,634人)	服薬している者(人)	963	9.8%
	服薬していない者(人)	1,671	17.1%
特定健診未受診者数(人)		5,638	57.6%

※KDBシステム健診ツリー図 (平成 29 年 10 月 20 時点)



特定保健指導対象外でも生活習慣病で受診している人が多くおり、服薬等と合わせた、食事・運動を含めた生活習慣等の改善が必要である。

特定健診未受診者へアプローチを強める必要がある。

(3) 人工透析の状況

- 人工透析者数は、40人前後で推移している。
- 新規患者は増えており、そのうち社会保険から移行してきた者が平成28年度には半数いる。

表 21 人工透析の推移

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
人工透析者数 (人)	38	47	43
うち新規患者数 (社会保険から移行) (人)	6 (0)	14 (5)	8 (4)
うち継続患者数 (人)	32	33	35
人工透析医療費総額 (円)	237,996,630	291,043,960	279,399,540
全体医療費総額に占める割合	4.6%	5.5%	5.5%



人工透析への移行を未然に防ぐ必要がある。
国民健康保険以外の市民への対応も検討する必要がある。

4 調剤における分析

(1) 医療費（調剤）の推移

- 平成27年度は、高額医薬品（C型肝炎）の保険適用により急激に増加し、年々増加傾向にある。

図8 医療費（調剤）の推移

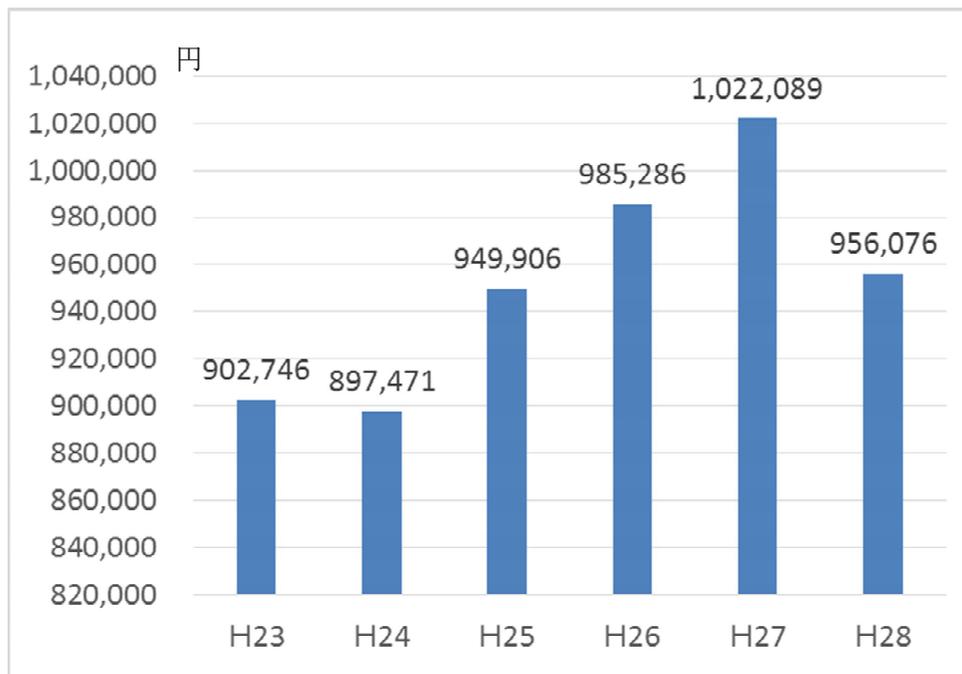


表22 重複投薬・多量投薬対象者

	対象者(人)
重複投薬	382
多量投薬	1,367

- ※ 重複投薬とは、1ヶ月に同一薬剤を複数の医療機関から処方されている者
- ※ 多量投薬とは、同一月に10剤処方以上処方を受けている者
- ※ H28.11診療月からH29.04診療月分を対象

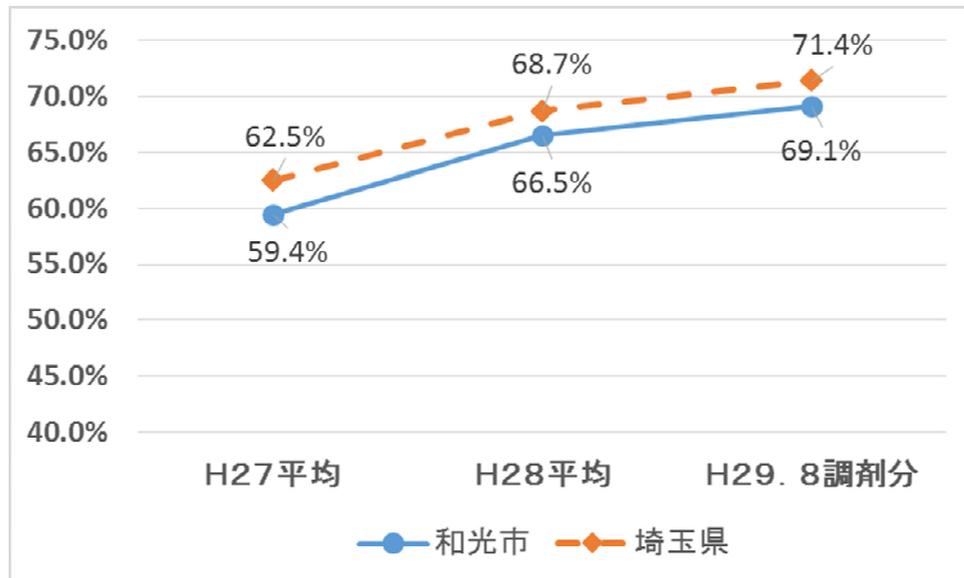


かかりつけ薬局の普及、重複・多量投薬への対策が必要である。

(2) 調剤における後発医薬品利用率

- 年々増加しているものの、埼玉県平均よりも低い。

図9 ジェネリック医薬品数量シェア



ジェネリック医薬品の利用割合を高める必要がある。

5 その他

(1) 社会保険移行者の医療費分析

- 社会保険から移行してきた60歳から64歳の一人当たり医療費は、全体の一人当たり医療費と比較すると高くなっている。

表 23 全体及び退職被保険者の一人当たり医療費の推移

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
全体一人当たり医療費 (60-64才) (円) A	399,163	402,927	425,832	460,745	477,997
退職被保険者 一人当たり医療費 (60-64才) (円) B	400,586	419,644	393,434	490,724	584,473
B/A	0.36%	4.15%	-7.61%	6.51%	22.28%



社会保険に加入している人に対しても、重症化予防などの対策が必要である。

第3節 後期高齢者医療制度・介護保険との関連

1 後期高齢者医療制度との関連

(1) 後期一人当たり医療費の推移

- 年々増加傾向にあったが、平成28年度は減少している。

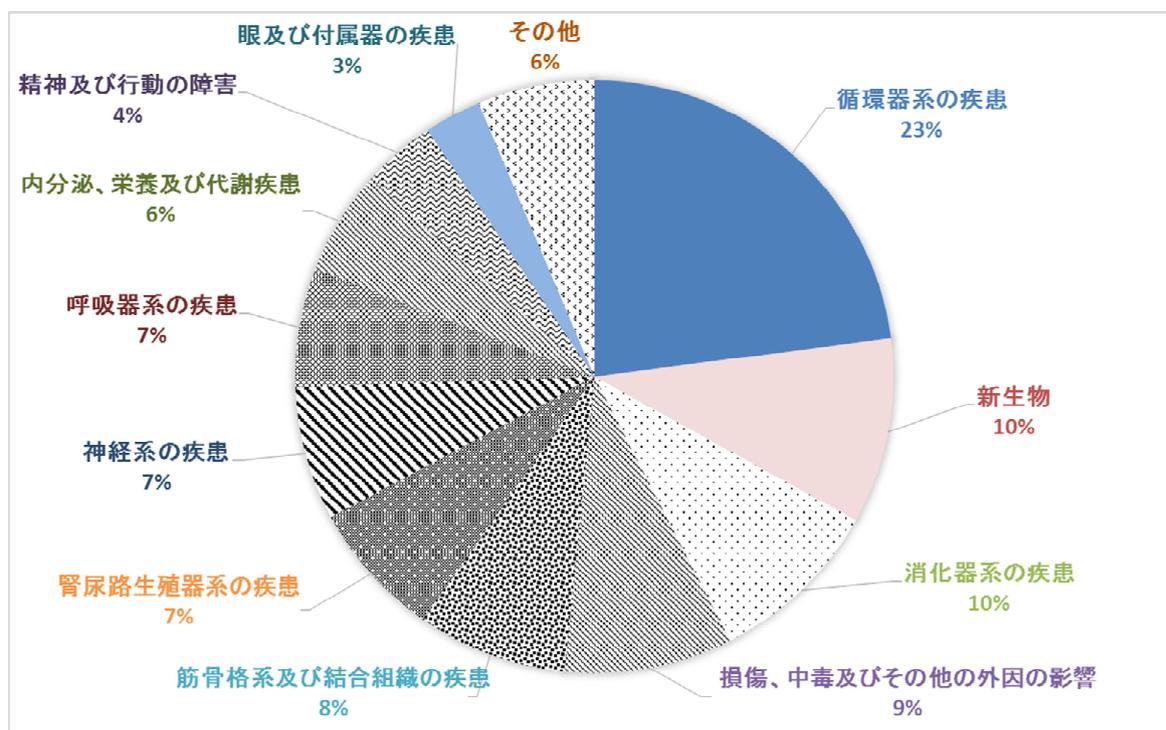
表24 一人当たり医療費の推移

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
一人当たり医療費(円)	851,065	880,671	904,056	918,094	935,053	905,380
前年度比増減率	-4.09%	3.48%	2.66%	1.55%	1.85%	-3.17%

(2) 疾病状況

- 循環器系疾患が最も多く、次いで新生物となっている。生活習慣病からくる疾患が国民健康保険と同様に多い。

図10 疾病分類(大)別医療費の総医療費に占める割合(平成28年度)



後期高齢者医療制度となる前の国民健康保険の段階での対応が必要である。

2 介護保険との関連

(1) 国保被保険者における認定者

表 25 国保被保険者の介護認定者（平成 28 年度）

認定者数（人）		60
うち	50代	5
	61～64	6
	65～69	16
	70～74	33

(2) 国保認定者の疾病状況

表 26 介護要因（平成 28 年度）

	脳梗塞	がん	認知症	狭窄症	精神	骨折	その他
人数（人）	18	13	8	7	2	2	10

※主治医の意見書の第1疾病を計上

(3) 在宅医療対象者数の推移

表 27 在宅医療対象者数の推移

	H24	H25	H26	H27	H28
対象者数(人)	44	36	27	43	90

表 28 訪問看護の件数の推移

	H24	H25	H26	H27	H28
レセプト件数(件)	85	118	152	259	346



脳梗塞の再発予防（再）、がん検診受診率向上（再）、認知症の早期発見が必要である。

地域包括ケアの一員として、地域医療、在宅医療との連携が必要である。

第4章 施策の視点

第1節 ヘルスアップ、ヘルスサポートによる被保険者のQOLの向上

施策の展開を進めるに当たっては、被保険者の健康度をいかに上げていくか、QOLをいかに向上させていくかが重要である。そのため、健康づくり基本条例、健康わこう21に掲げるヘルスアップとヘルスサポートの視点から、施策の展開を検討する。

第2節 医療費へのインパクトのある施策の展開

一人当たり医療費は伸び続けている現状にある。医療費の伸びは、納付金（＝被保険者負担）の増加につながる。今後の施策については、医療費に影響を与えることができる取組を構築させることを第一に考えていく。

第3節 収納率向上、税率改正などによる国保運営

国民健康保険を運営する保険者として、法律等に定められた適切な事務の執行、保険税等の収入を確保などが求められている。平成30年度の制度改正を契機に、今後の方針等を明確にした取組を実施していく。

第5章 施策の展開

第1節 保健事業の推進

1 ヘルスアップ

(1) 特定健診の受診率向上

平成28年度：42.4%

特定健診の受診による医療費効果の検証

(2) 特定保健指導の実施率向上

平成28年度：14.7%

実施率・実施人数の大幅な増加を検討

特定保健指導によるメタボ改善率の検証

特定保健指導による医療費効果の検証

(3) 特定保健指導対象者以外のメタボ該当者・生活習慣病該当者の減少【新】

生活習慣病による医療機関受診者へのアプローチの検討

検診ツリー図による医療費の分析

(4) 健康マイレージの実施【新】

埼玉県コバトン健康マイレージの実施

ハイリスク対象者への参加勧奨

参加者の医療費効果の測定

(5) がん検診の受診率向上

早期発見、早期治療のための受診率向上

(6) 認知症検診の実施

若年からの認知症の早期発見、早期治療

2 ヘルスサポート

(1) 脳梗塞の再発防止対策【新】

脳梗塞による入院後のアプローチの検討

再発を防ぐアセスメント、効果の検証

(2) 生活習慣病重症化予防対策事業（人工透析への移行予防）

平成28年度：受診勧奨43人、保健指導4人

医療機関の協力による対象者の増加
事業の医療費効果の検証

(3) 健康サポート訪問事業（重複・頻回受診、重複・多量投薬等への訪問）

平成 28 年度実績：訪問指導 16 人、効果額約 460 万円

対象者、効果の拡大を検討

第 2 節 保険者機能の強化

1 医療費適正化に向けた取組

(1) 資格・過誤点検

平成 28 年度実績：2,524 件、約 3,600 万円

(2) レセプト点検

平成 28 年度実績：査定件数 920 件、返戻件数 82 件、効果額約 600 万円

(3) ジェネリック医薬品利用差額通知

平成 28 年度実績：発送回数 2 回、対象件数 591 件、効果額約 130 万円

(4) 第三者行為求償

平成 28 年度実績：求償額約 1,000 万円

(5) 医療費通知

平成 28 年度実績：年 6 回送付

(6) 不正・不当利得請求（国保資格喪失後受診への返還請求）

平成 28 年度実績：収納額約 330 万円

2 適切な国保運営の推進

(1) 収納率の向上

平成 28 年度実績：収納率 91.83%

口座振替の原則化

早期の納税サポートセンターによる納付勧奨

(2) 税率等改正

医療費推計、財政推計をもとにした 3 年間に 1 度の税率改正

(3) 地域包括ケアの推進

コミュニティケア会議への参画による介護保険事業との連携
医療・健診情報等の提供
地域包括ケア支援室との連携による在宅医療の推進

(4) 地域医療構想や医療計画の推進状況の把握

病床機能分化の進捗の把握
埼玉県による計画推進状況の把握
健康サポート薬局等との情報交換

(5) 広域化を契機とした事務の標準化

県内統一及び標準マニュアルの使用
被保険者証と高齢受給者証の一体化（平成 32 年）